

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL <http://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

子ども・若者エンパワメントセミナー2018 報告

居場所をなくした子ども・若者たち

～川崎事件を取り材して～(2018年11月28日実施)

子ども・若者が被害者にも加害者にもなってしまう痛ましい事件が、残念ながら後を絶ちません。

2015年の「川崎市中1男子生徒殺害事件」は、全国的に大変注目されましたが、すぐ隣のまちで起きた出来事に当時私たちも大きな衝撃を受けました。また、事件当時の少年たちの関係性や行動に疑問を持たれた方も多いのではないでしょうか。

なぜ事件は起こってしまったのか。大人は何ができるのか。

事件を取り材され『43回の殺意-川崎中1男子生徒殺害事件の深層(双葉社)』を書かれた石井光太先生をお招きし、子ども・若者を地域で育むためにできることを、参加者の皆さんとともに考えました。

◆「非社会的」な子ども・若者たち

かつての青少年健全育成の観点は、「反社会的」な行動に対する青少年の非行防止が中心でした。しかし、この事件では社会のセーフティネットとうまくつながれないことを意味する、「非社会」の世界にいる少年たちが事件の当事者になりました。

◆“セーフティネット”からこぼれない・こぼさない

講演では、少年たちが福祉や地域の居場所・司法ともつながりつつも、最終的にどこにもつながりきれなかった経緯、そして徐々に居場所をなくしていく、事件が起きてしまった過程が話されました。

石井先生は、セーフティネットに“つながりきれなかった”話から、子ども・若者と大人がつながるチャンネルをひとつでなく複数もつこと、支援者自身が変わっていく必要があること、多様な引き出しをもっている大人と子ども・若者とをマッチングしていくなど、“こぼれない・こぼさない”セーフティネットの必要性が提案されました。



講師の石井光太先生。定員を上回る応募があり、関心の高さが伺えました。

◆子ども・若者たちを “被害者にも加害者にもしない”

当日は市内全域から、保護者や民生委員、学校、地域の居場所関係者など250人が集まり、事件から3年経った後も、なお高い関心があることが分かりました。参加者からは、「居場所をなくした子ども・若者の実態を知り、居場所を運営する一人として他人事だと思えなかった」「つながり続けることの重要性と子どもとつながる接点作りに取り組みたい」などの感想が寄せられました。

【子ども・若者エンパワメントセミナーについての
お問い合わせ】
担当:事業企画課 TEL:045-662-4170

Information～お知らせ～

ご存知ですか？ よこはまユースの

SNS(ソーシャルネットワークサービス)

事業や講座、活動情報のほかスタッフのつぶやきも…。
フォローよろしくお願ひします！

■twitter (ツイッター)

- ◎本部、施設 @yokohamayouth
- ◎さくらリビング @sakura_living

■Facebook (フェイスブック)

- @yokohama.youth.jp



NEW OPEN !

城郷小学校放課後キッズクラブ

が開設しました！(3月1日)

地域や学校関係者、
保護者の皆さま方と一緒に、子どもたちが健
やかに伸び伸びと過ご
すことができるキッズ
クラブを目指します。
■所在地：港北区鳥山町



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

知ろう・理解しよう“多様な性”

「LGBTパネル展」(2月11～23日)

青少年啓発事業として、フリースペースにて、セクシャルマイノリティをテーマとしたLGBTパネル展「多様な性、知っていますか？」を開催しました。

パネルを見た高校生からは

「同世代でも悩んでいる人

がいる事を知った」「いつか恋人ができたら理解してもらいたいなと思っているので、このような展示をもっと広めてほしいです」という感想が寄せられました。

多感な年代の青少年たちは、パネルからさまざまことを感じてくれたようです。



横浜市青少年育成センター

これで安心！

「SNSを活用した広報・PR講座」(2月20,27日)

初日はツイッターやFacebook等の特徴を学ぶとともに、SNS導入後に施設利用者が急増した施設の職員をゲストに呼び、効果や注意点などを聞きました。

2日目は、講師がこの講座のために作成したSNSサイトを使っての実践を中心に学びました。最後に講師からの



「SNSの発信は『共感』を呼び『他人ごと』から『自分ごと』にすることである」というメッセージを全員で共有し、終了となりました。2日目に作成したSNSサイトは、講座終了後も参加者同士で質問し合える場として活用されています。

*講師：NPO法人横浜コミュニティデザインラボ代表理事 杉浦裕樹氏



2018年10月1日から2019年1月31までの寄附金

◆ユース賛助会費	73件	243,000円
◆一般寄附金	5件	25,000円



寄附金協力者（名前順、敬称略）

【団体名】

横浜市立井土ヶ谷小学校PTA／稻垣薬品興業(株)／(株)大向／喜月堂本店内中央菓選会

京浜サービス(株)／(株)サンセルフ／(株)ジェイコムイースト横浜テレビ／馬車道商店街協同組合

ブックオフオンライン／横浜市健民少年団／横浜市PTA連絡協議会／(株)横浜レンタル／横浜金沢ロータリークラブ

【個人名】

荒井 総平／新井 春海／飯島 幹夫／飯塚 道子／池田加津男／石間千賀子／稻又 理史／乾 英昭／井上 孝夫／岩崎 淳／榎本 文夫
大石 俊雄／大久保皓司／太田 京子／大槻 哲夫／沖津 淑子／長田 明子／笠原 光子／賀谷 まゆみ／川邊 直樹／熊井 憲一
澤出 吉秀／篠崎 浩子／下澤 明久／下野坊 和子／関野 修一／竹内 曜／武 久美子／田島 一郎／中村 輝次／中谷 忠宏／沼尾 実
沼田 幸子／野田 義男／馬場 洋一／林 由美子／藤島 栄子／藤田 吉隆／古澤 竜夫／松本 研／三井 巧／三橋 ツネ／安田 幸世
安田 修二／若木 一美／渡辺 洋吉

横浜市野島青少年研修センター

和菓子とさかな料理にチャレンジ！

「親子クッキング教室」(1月26日、2月2日)

小学生とその保護者を対象としたクッキング教室を実施しました。「和菓子づくり」では、金沢ブランドでおなじみの御菓子処「菊月」店主の花博一さん指導のもと、練り切り・茶饅頭・みたらし団子・どら焼き作りに挑戦しました。



「おさかなクッキング」では、料理研究家の長島由佳さんの指導で、真鯛の三枚おろしに挑戦。アクアパッツア、フライドフィッシュを作りました。参加した小学生から「魚が好きになった。そして料理を作るのは楽しい！」と嬉しい感想がありました。

放課後キッズクラブ

合同避難訓練を実施しました！

(2月6日／瀬谷くら小学校放課後キッズクラブ)

瀬谷消防署、瀬谷区役所とともに防災訓練を行いました。発煙装置を使っての火災訓練では、指示に従いハンカチ等で口を押さえながら無事に避難ができました。振り返りでは「火元からどれだけ早く離れられるかが大切」と伺いました。

続いて行われた「水害を想定した避難訓練」では、少しでも高いところへ避難するために、校舎の最上階に上がりました。もしもの時に備え、避難のキーワード



『お・か・し・も（押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない）』の徹底や役割の確認などを日頃から徹底していきたいです。

賛助会費・寄附金 の振込が
インターネット からもできるようになりました！

【口座番号】

ゆうちょ銀行(9900) ○二九 (ゼロニキュウ) 店

当座 0082730

※引き続き、窓口・ATM からもお振込みができます

